



こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです

市内公共交通施策の推進 「来年度から調査検討業 務の委託を開始」の答弁

先の6月議会で、私は「市内公共交通施策の推進について」と「住宅リフォーム助成制度の改善について」の一般質問を行いました。

これまで「デマンドバスの導入」などの公共交通施策の要求に、いつも「検討中」との答弁でしたが、今回初めて具体的な方向性が示されました

「来年度から、具体的に調査検討業務を専門のコンサルタン卜へ委託することを考えており、蓮田市公共交通体系の提案として頂けたらと思っています」と



騎西町（現加須市）の「騎西ふれあいタクシー」（6月視察時撮影）

の答弁がありました。「ようやく一歩を踏み出せる」と、市民の声も反映しながら、「早く実現を!」との思いを強くしました

必要な住宅リフォーム 助成制度の拡充を

地元の業者が行うリフォーム工事に自治体が助成をするという住宅リフォーム助成制度が全国で広がっています。

蓮田市では、地元業者を利用してバリアフリー工事を行った場合のみ、工事費の5%、上限10万円が市から補助が出る「住宅リフォーム助成制度」がありますが、介護保険でも対応できるため利用者が少ないのが現状です。

私は地域経済の活性化、波及効果からもすべてのリフォーム工事に助成をするなどの改善を求めましたが、慎重に検討するとの答弁でした。

市内業者育成のためにも必要では!!

小山 ゆりえ

給食食材の放射線測定を 保育園、公園などの測定を早急に —日本共産党蓮田市議団が市に要望—

福島原発事故による放射性物質の拡散は極めて広範囲に及び、特に影響が心配される子どもの被曝をどう防ぐかが、重要な課題です。日本共産党蓮田市議団は①学校給食食材の放射線測定を2学期から②保育園、幼稚園、小学校、公園の放射線測定を③空気中だけでなく、土壌、地表、草や植栽、芝生など放射性物質の溜まりやすい場所の測定を—の三点を市長に要望しました。



市内中学校で毎日行われている放射線測定（地上1m）

子どもをもつ親の心配は大きく、早急な対応が必要です。市民の自主的な測定も広がっており、8月20日には医療生協蓮田支部が独自に市内10ヶ所で放射線測定を予定しています。

（写真は市広報「はすだ」8月号より）

小児医療センター移転 「トップダウン」で知事が決定

上田知事は6月2日、「小児医療センターをさいたま新都心に2015年度内めざし、さいたま赤十字病院と隣接する形で建設する」と移転を正式に発表しました。日本共産党蓮田市議団は6月議会で早速この問題を取りあげ、蓮田の小児医療に果たす役割は大きく、対策をとるよう質しました。

現在、市民により存続を求める請願署名も取り組まれています。蓮田市の小児救急搬送のうち、小児医療センターは43%（09年度）とまさに命綱。受診小児数ベスト5は外来・入院ともに蓮田市・上尾市・岩槻区・春日部市・見沼区であり、近隣地域にとり、なくてはならない医療機関なのです。埼玉県は医師数・看護師数で全国ワースト1。周産期や小児救急での県外依存の高さ是有名です。かけがえのない命を守るために、こうした医療の遅れを正し、充実させることが求められています。



わたしのホットにゆうす



自宅の入口横に産直野菜や花などの無人販売所を置く、江ヶ崎みずほ団地に住む石井貞子さん。始めてから今年の秋で丸8年になるそうです。

主に自分で作ったものを置いていますが、近所のひともいろいろと出品しています。近くにスーパーもないこの地域



上は無人販売所。下は「いま一番のおすすめ」という、1袋200円の幸水です。

では、新鮮な野菜が安く入手でき、とても重宝な存在です。

また石井さんは料理も得意で、4月の市議選の際は、いつも選挙事務所においておいしい料理を運んでくれ、頼もしい後援会員の一人でもあります。（金子記）

あなただけの「クールスポット」を探してみませんか



NPO法人「環境ネットワーク埼玉」が埼玉の「避暑地」を紹介する「彩の国クールスポット100選」の中に、東埼玉病院入口にある「黒浜日野手緑地」(上の写真)が選ばれました。訪れてみると、まさに「クールスポ

ット」。特に奥の小川（黒浜沼の源流）は、ハグロトンボなども見られておすすめです。

あ と が き



第2号を7月に発行予定でしたが、埼玉県知事選挙の取り組みもあり、8月になってしまいました。

第1号は「とても見やすい。次が楽しみです」との声も聞かれ、うれしい反面、プレッシャーもかかってきます。毎月発行は厳しいかもしれませんが、ねばり強く取り組んでいきたいと思えます。